



6月

やあ！みんななかよし

じぶん たいせつ
自分を大切に みんなを大切に



ちい しんせつ ひ 小さな親切の日

がつ にち ちい しんせつ
6月13日は「小さな親切の日」です。

しょうわ とうきょうだいがく そつきょうしき かやせいじそうちょう
昭和38年（1963年）の東京大学の卒業式で、茅誠司総長が

ちい しんせつ ゆうき 「小さな親切を勇気をもってやってほしい」

い ちい しんせつ うんどうほんぶ
と言ったことがきっかけとなり、「小さな親切」運動本部が
できました。それ以来、

しんせつ 『できる親切はみんなでしょう、

しゃかい しゅうかん それが社会の習慣となるように』

うんどう にほんじゅう ひろ
をスローガンに、運動が日本中に広がりました。

おも こころ しゃかい
思いやりあふれる、心のかよう社会づくりをめざして、
こじん だんたい ひょうしょう せいそうかつどう かくしゅ
個人や団体の表彰や清掃活動、各種コンクールなどいろいろな取り組みが行われています。

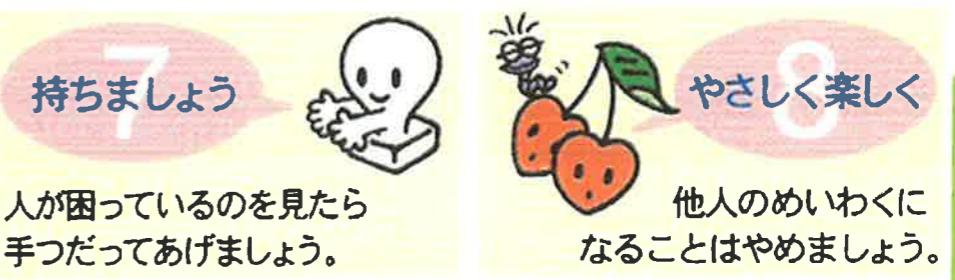
ちい しんせつ うんどう じょう 「小さな親切 運動」8か条



朝夕のあいさつを
かならずしましょう。
他人からの親切を心からうけ入れ
「ありがとう」といいましょう。



紙くずなどをやたらに
すてないようにしましょう。
電車やバスの中で
お年寄りや赤ちゃんをだいた
おかあさんには席をゆずりましょう。



人が困っているのを見たら
手つだってあげましょう。
他人のめいわくに
なることはやめましょう。